

研究開発室C 研究概要 米盛徳市

琉球大学島嶼防災研究センターで2014/7ー2015/3のホワイトスペースの活用に関する研究を行った際に無線ネットワークによる情報システムの構築に並行して、物理的な人的ネットワークの構築の重要性の考察も行った。

具体的には地域コミュニティの「自助・共助」の受け皿としての自治会の活性化である。

一般社団法人 全国自治会活動支援ネットの支援/協力を得て本学と西原町ならびに同町内自治会に沖縄県内企業の協力も得て沖縄県内41市町村に利活用できる防災・防犯型「自治会活性化モデル」の確立をめざす。

道路や公共施設、住宅街に広く設置されている飲料自販機を効果的に配置し、センサーや通信などを実装して目的に合わせ多機能化を検証する。

これを地元の自治体と自治会の協力を得て日常的に防犯や徘徊、通学等に活用した常時モデルと災害時の誘導/避難や情報の把握など非常時モデルを研究して県内への普及をめざす。

防災・遠隔教育支援システム

運用イメージ

各自治体 公民館



ライブ授業(受講者)



教材コンテンツ
活用

サーバー



琉球大学



教材コンテンツ
の登録



ライブ授業(講師)

将来計画

離島小中学校



防災リテラシー教育受講

2016/5/23

西原台団地防災オフィス

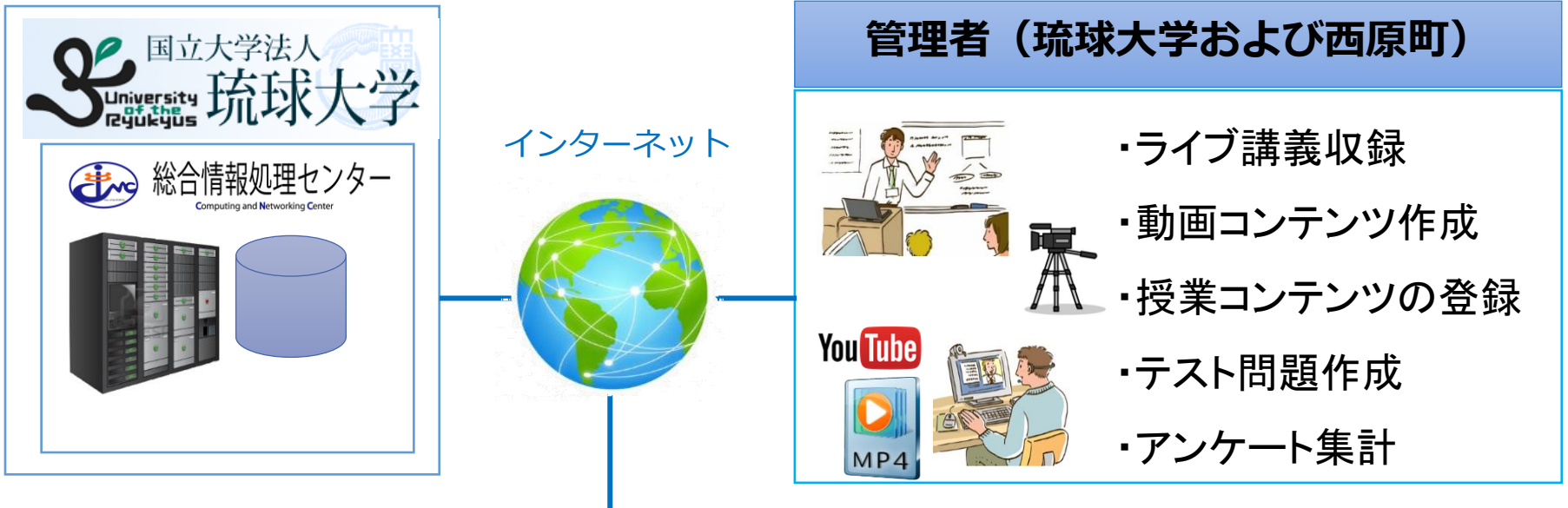


ライブ授業
(講師)

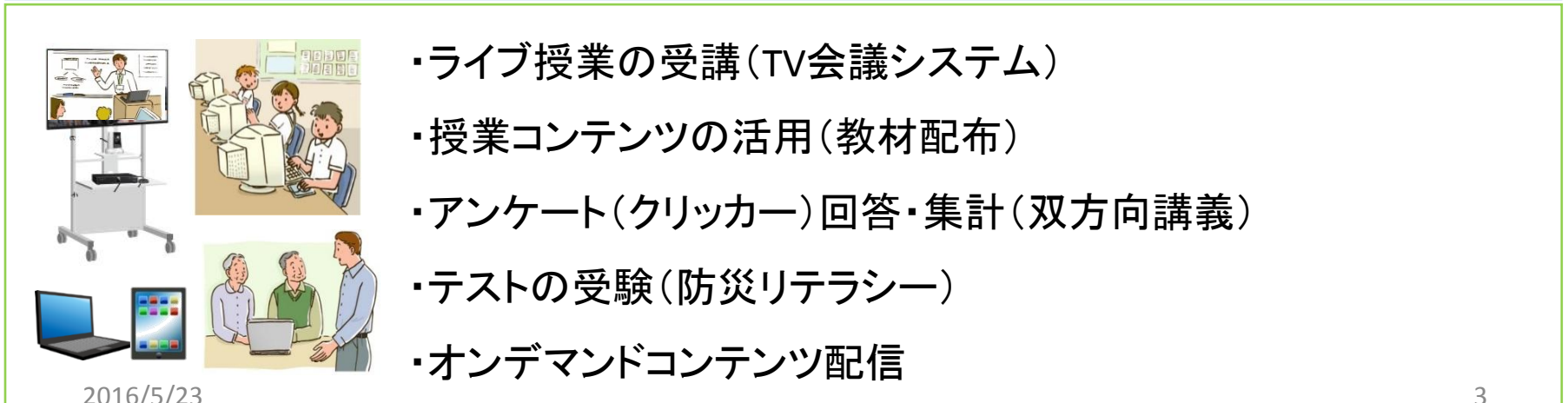


ライブ授業
(受講者)

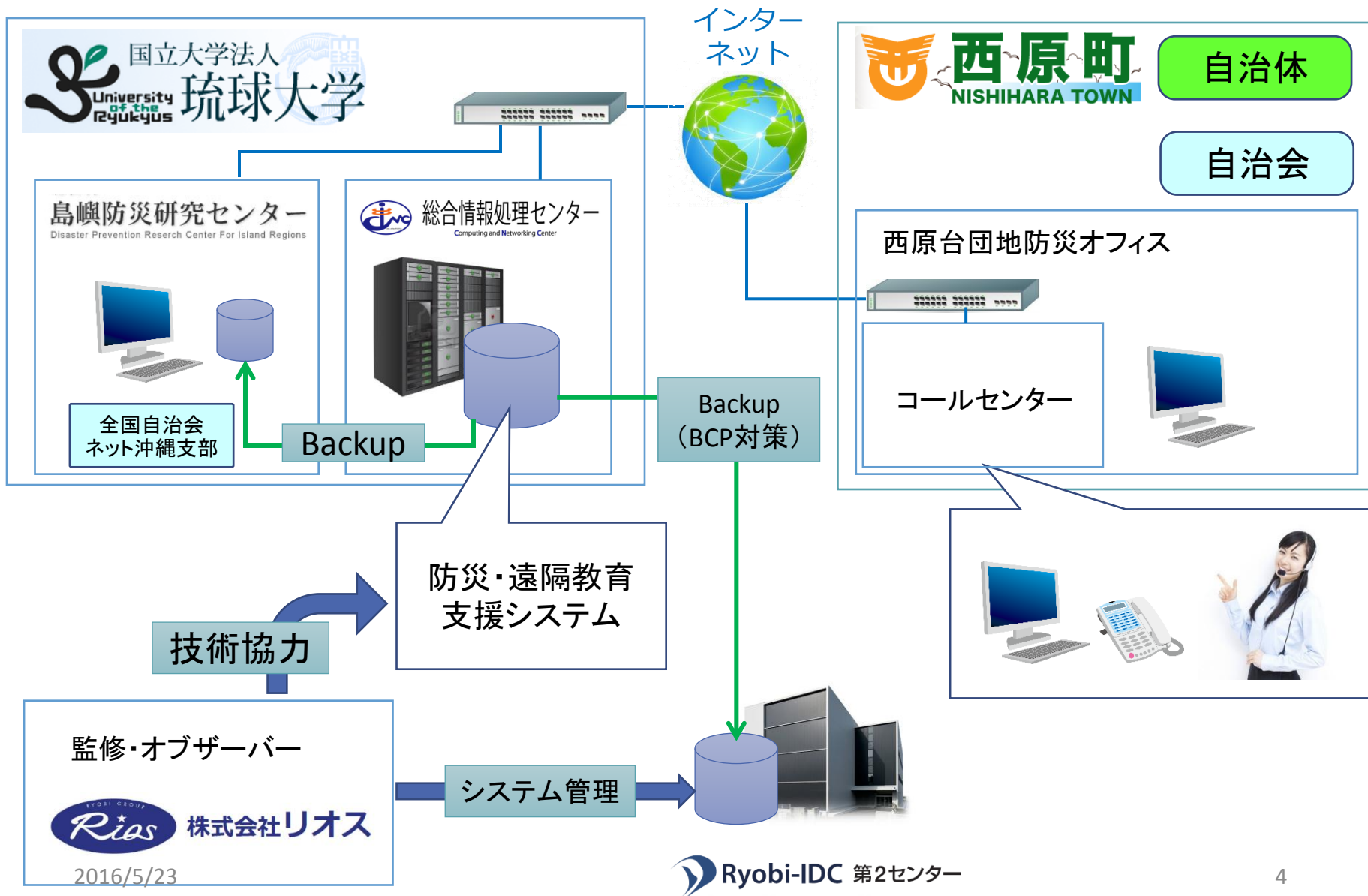
インターネット



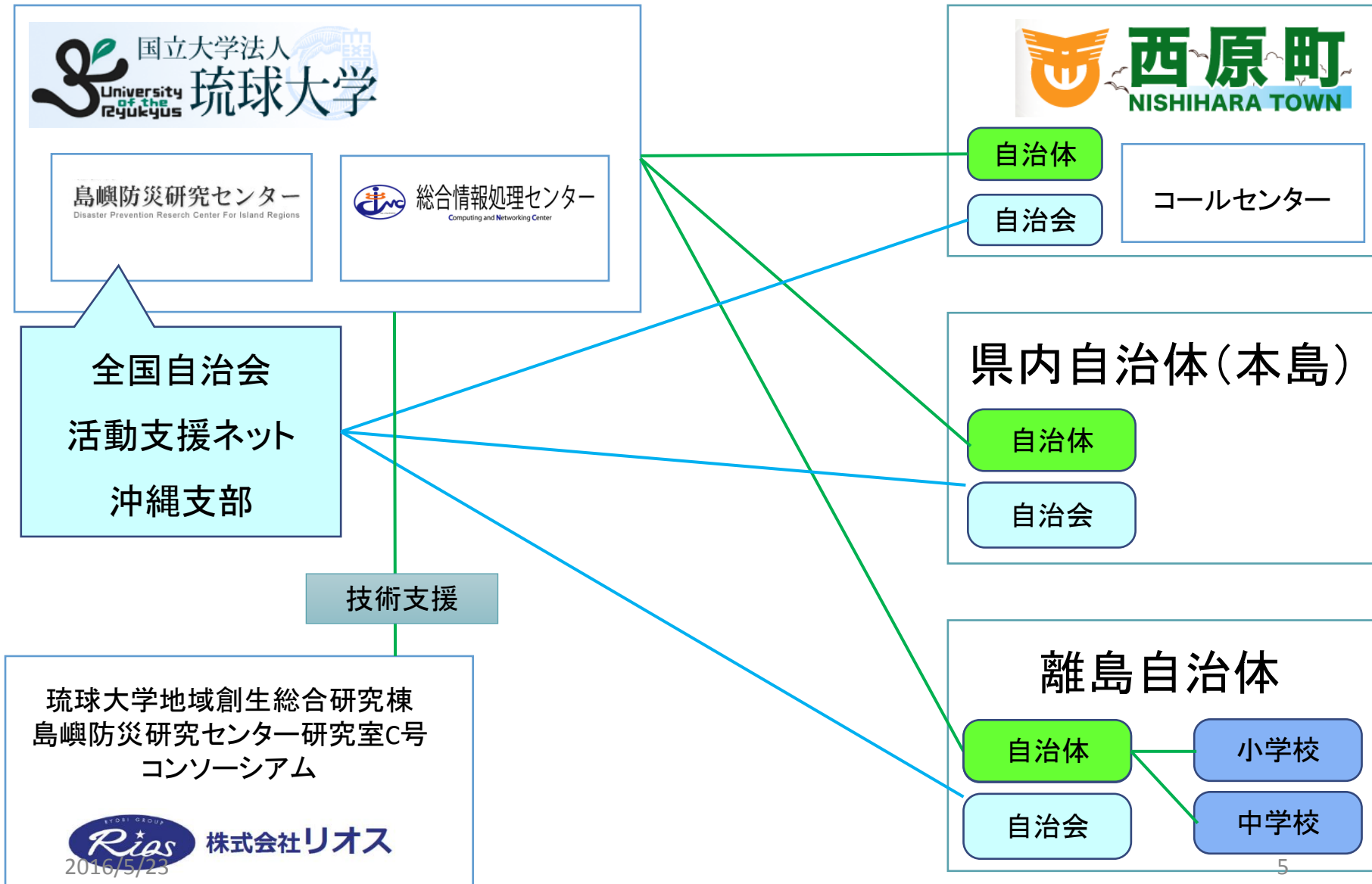
受講者（各自治体・自治会および離島小中学校）



防災・遠隔教育プロジェクト概要（初期計画）



防災・遠隔教育プロジェクト概要(将来計画)



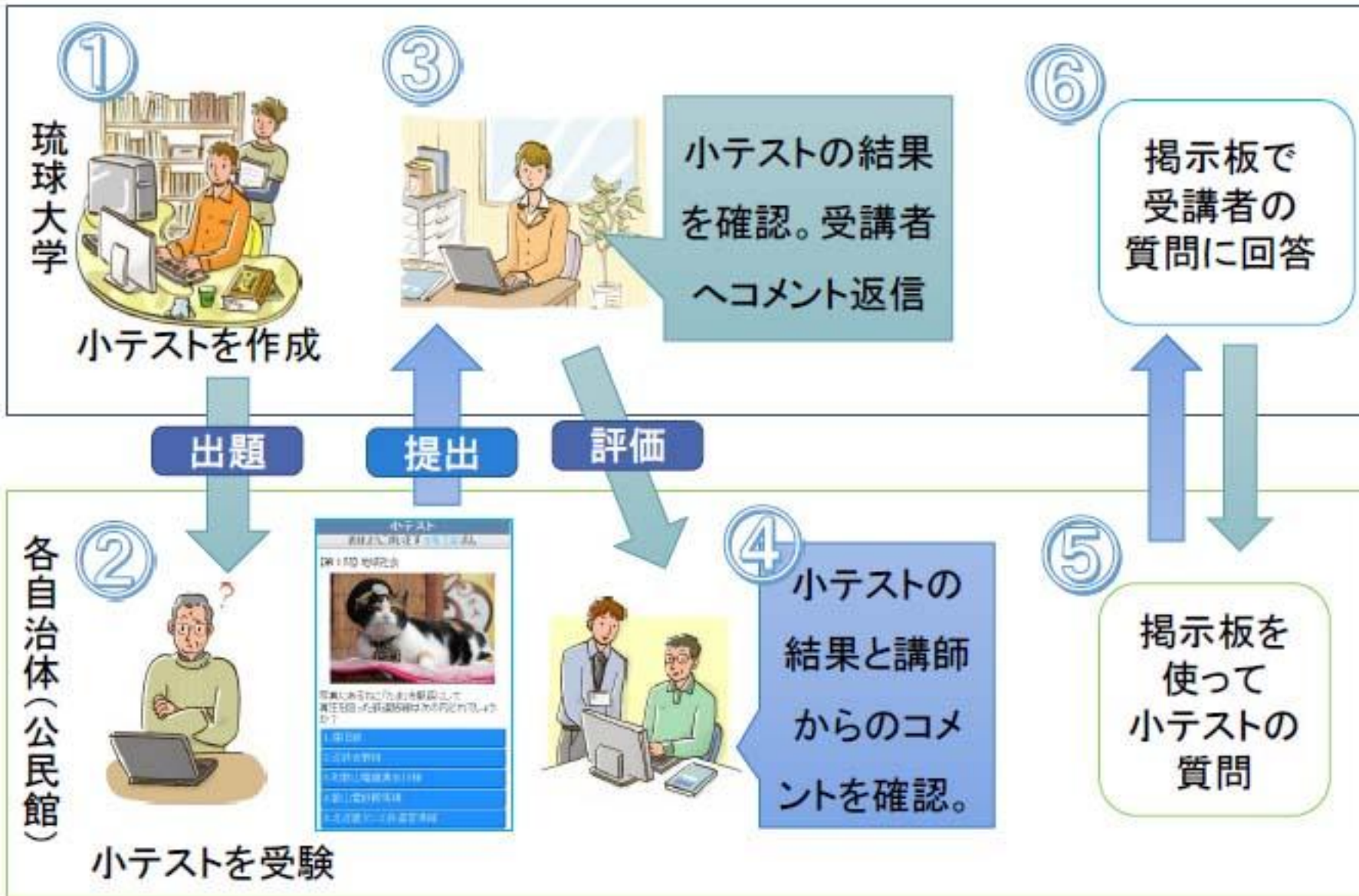
1. 講義の配信



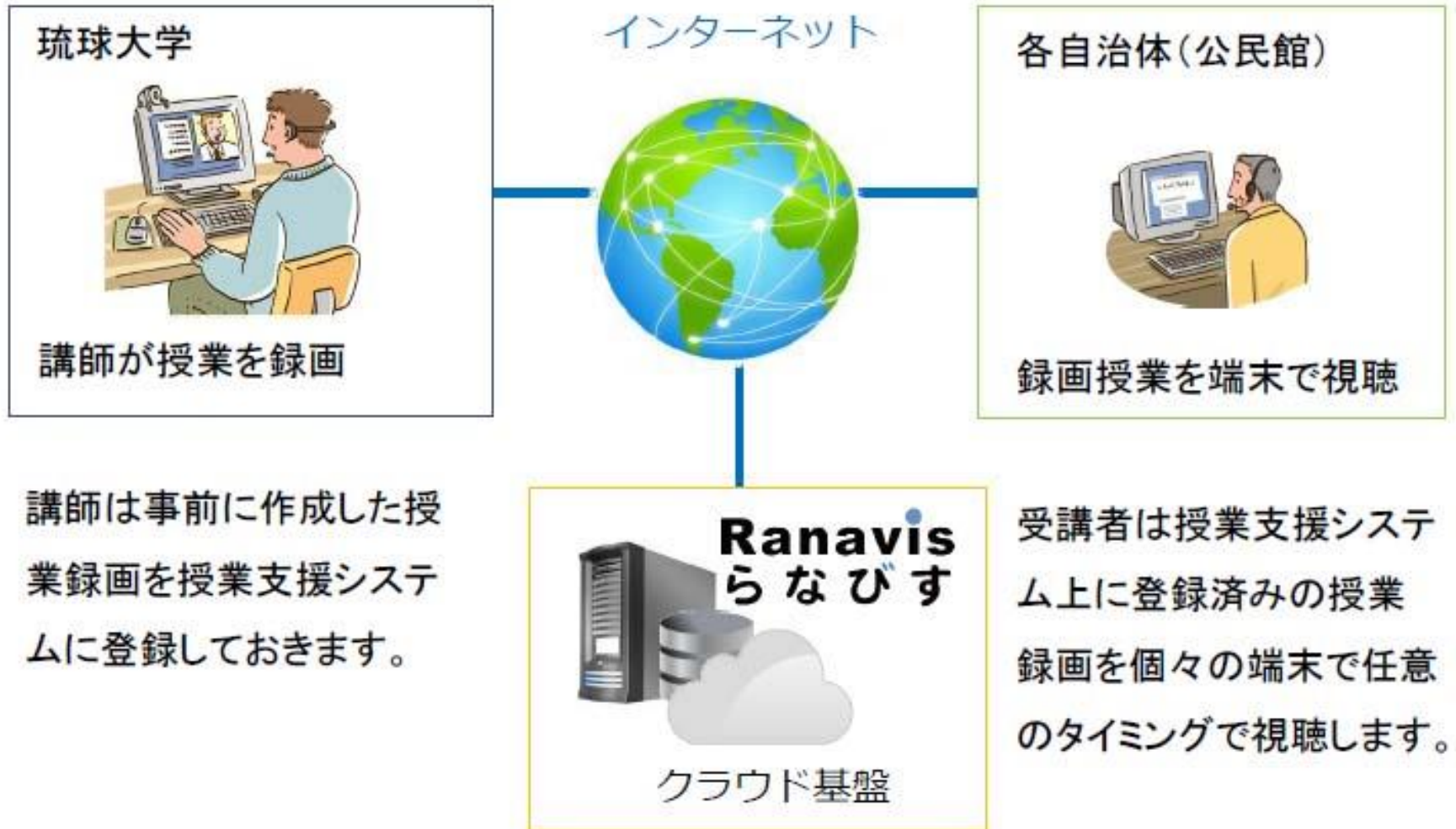
2. オンデマンド視聴用授業コンテンツ作成



防災リテラシーの教育評価



オンデマンド学習



教育用メディア

災害情報収集



島嶼地域



遠隔地



遠隔双方向学習



Wi-Fi

市町村・自治体



在宅学習



個人携帯へ



観光客へ

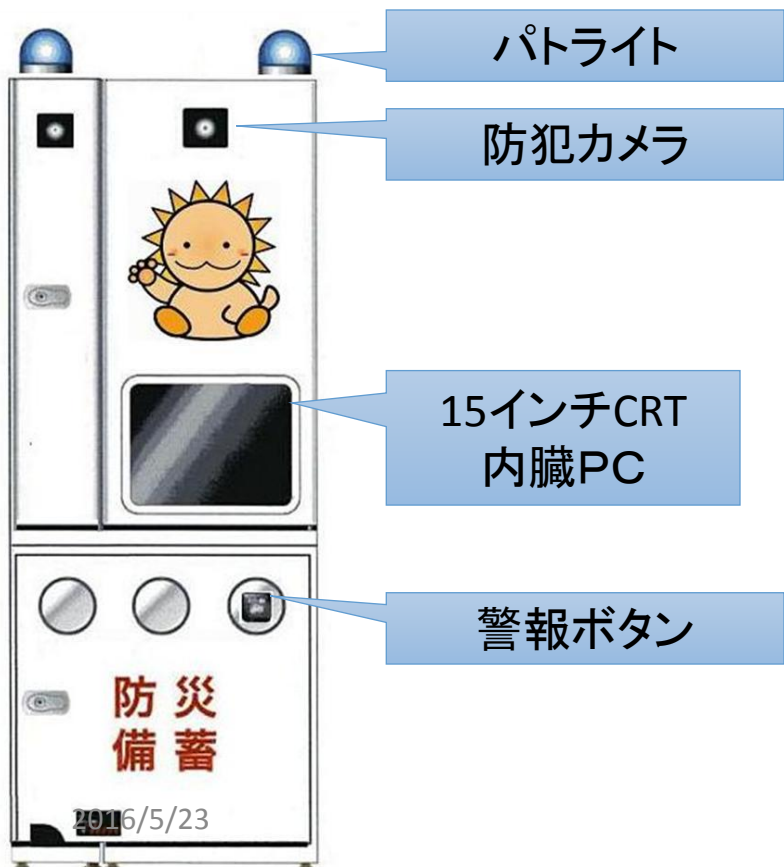
ホワイトスペース通信活用の概念



災害対応自動販売機

地域情報発信システム内臓
防災・防犯BOX

みまもりロボくん



利用方法は、あぶないと思ったら警報ボタンを押すだけ!



機敏な行動が | 音とパトライトの回転に気付いたら
子どもを守る! | すぐに子どものそばへ駆けつけよう

“みまもりロボくん”は、皆さまのご協力で展開している「こども110番の家」
「愛ガード運動」の自動販売機版です。
現在はパトライトと警告ブザー、防犯カメラを内臓しています。お子様には
“みまもりロボくん”の趣旨、利用の仕方の説明をよろしくお願いします。



将来、PC&モニター*を付加しインターネット接続して、地域情報、防犯・防災・安全情報などを発信すると共に、
万一の時のために防災用具を備蓄*し、安全なまちづくりに貢献できるロボに進化させる予定です。

琉球大学

